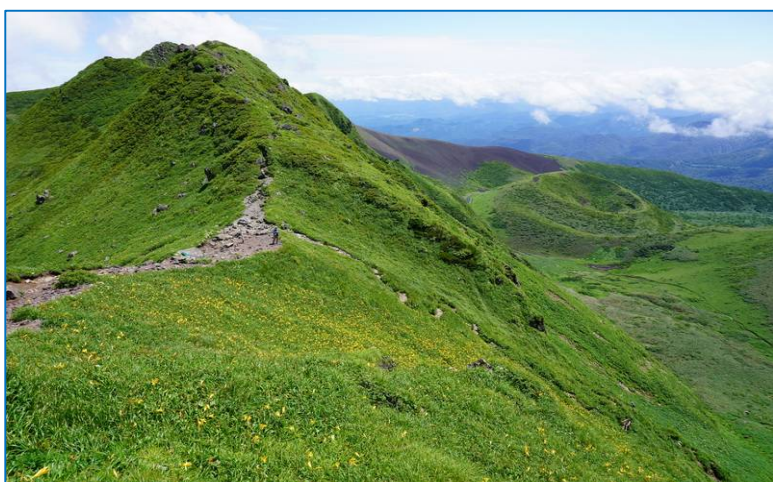


調査年月日：2022(R4)/07/25 (月)

踏査区間：大焼砂分岐～駒池～男岳



大焼砂分岐から横岳方面眺望 (標柱の「男岳分岐」表示は間違い)



男岳付近から男岳分岐付近 (右は小岳)

※「男岳分岐」への名称変更←当初「(仮)馬の背分岐」と記録した場所

〔メモ〕

文責：阿部丕頭

1 調査主眼点

- ① 登山道の状況 (特に構造物)、危険個所有無
- ② 誘導標等の状況確認
- ③ 眺望地点等登山道の魅力再確認

2 調査結果

- (1) 総括
 - ・ 調査区間は男岳直下の急坂部を除きほぼ平坦で、男岳や横岳稜線、大焼砂を仰ぎ見ながら登山できる魅力的なコースである。
- (2) 登山道の状況等について
 - ・ 木道がしっかり整備されており、歩き易いが、男岳直下の急坂部は落石等に注意を要する。
- (3) 誘導標等について
 - ・ 女岳分岐の標柱は老朽化しているが表示は確認出来る。途中、「かたがり泉水」の標柱があるが、できれば「駒池」の表示も欲しい。
- ※ 今回調査起点の標柱は「男岳分岐」と表示されているが、「大焼砂分岐」が正しいので、この調査記録を修正した。「男岳分岐」はこの記録において当初「(仮)馬の背分岐」とした場所と判明したので併せて修正した。(根拠：(3/3)末尾に記載)
- (4) 登山道としての魅力
 - ・ チングルマ群落など花を楽しめるコースである。
- (5) 参考
 - ① 今回の行程 約5.4km (国見～駒池～男岳)
所要時間約4時間10分 (休憩含む)
(調査しながらの為に時間を要した)

(踏査参加者) (敬称省略)

岩手山地区パ-ホボランティア	広野 孝男
〃	阿部 丕頭



国見登山口案内板 (標高約860m)



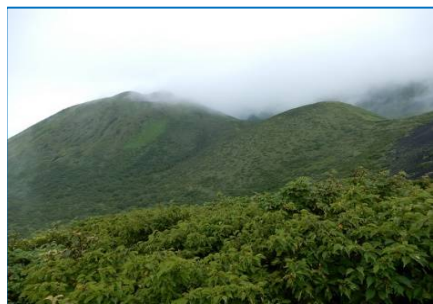
(写真No.1) 天然杉 標高約1,030m付近



標柱「横長根(1175)」 「岩手県」「横岳大焼砂→」 「←金十郎長根、御坪分岐」 「↓国見温泉」



(No.2) 標柱「第二展望台」 「H13岩手県」 「笹森山、乳頭山分岐点↑」



(No.3) 女岳と小岳



(No.4) 大焼砂分岐の標柱 「男岳分岐」の表示は間違い 「←男岳小岳」「↑横岳(1583高地 1.2Km) (白台紙に)「従是右駒草高嶺藁道 左稚児車道」



同左分岐左側の標柱 「男岳→」 「←国見」



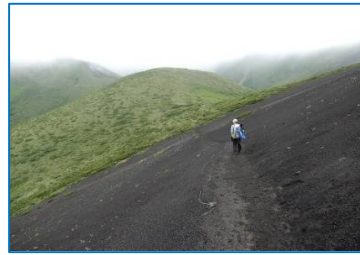
同左右側の表示板 「←横岳1.3Km」 「国見温泉3.2Km→」



(No.5) 大焼砂分岐から駒池方面に向かう



(No.6) 制札 (環境省)



(No.7)



(No.8) コマクサ群落



(No.9) 木道起点 (ダブル)



(No.10) 木道ダブル区間終点



(No.11) ベンチと土留柵2基



(No.12)



(No.13) 木道折損箇所



(No.14)



(No.15)



(No.16) 土留柵7基



(No.17) かたがり泉水



(No.18) 標柱「かたがり泉水」
「秋田県」Katagari Pond
「高山植物損傷・採取禁止」



(No.19) 土留柵3基



(No.20) 木道
栈木打ち



(No.21) 栈木打ちから
横溝加工木道



(No.22) 駒池付近



(No.23) 横溝加工木道終点
無加工木道起点



(No.24) 無加工木道続く



(No.25) 木道階段起点



(No.26) 木道階段



(No.27)



(No.28) エゾツツジとアオノツガザクラ



(No.29) 女岳分岐



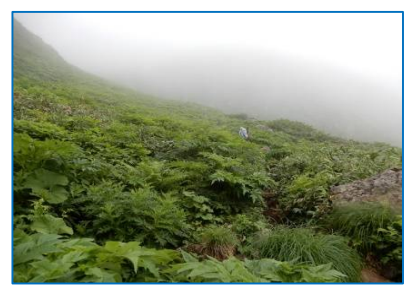
(No.29) 女岳分岐標柱
「男岳→」「←国見」



同左付近の表示



(No.30) ミヤマダイコンソウ



同左地点から上部を望む



(No.31) 見事なニッコウキスゲ群落



(No.32) 男岳分岐付近



(No.33) 標柱 (過年度撮影)



(No.33-1) 男岳山頂直前

「男岳0.3Km」「阿弥陀池0.1Km」「横岳0.7Km」



(No.34) 男岳山頂 Mt. Odake
標柱「男岳1623m」



(No.35) 男岳分岐北斜面
ニッコウキスゲ群落みごと



(No.36) 阿弥陀池小屋へ



(No.37) 標柱「横岳分岐点」
「←横岳0.2Km」「男岳0.8Km→」
「阿弥陀池小屋0.3Km↓」



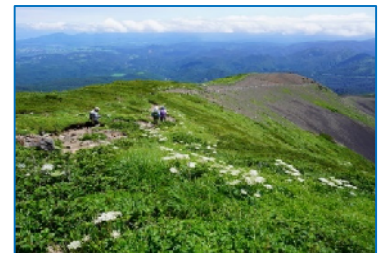
(No.38) ベンチ2基
しっかり補修されている



(No.39) 残雪あり
避難小屋南東部



(No.40) 標柱「横岳」
「←男岳1.0Km」「焼岳0.6Km→」
「国見温泉4.5Km↓」



(No.41) 大焼砂へ下る



(No.42) 標柱「大焼砂」「H13岩手県」
「笹森山・乳頭山分岐点→」



(No.43) コマクサ群落



(No.44) 標柱「岩手県」
「男岳↑」「横岳(1583高地)」
「←国見温泉」

〈地名訂正の根拠〉「大焼砂分岐」と「男岳分岐」

※出典：無明舎出版「フラワートレッキング秋田駒ヶ岳」(著者：日野東・葛西英明)の登山情報図

(情報提供：岩手山地区P.V 佐々木満氏)



男岳分岐付近南斜面のニッコウキスゲ群落



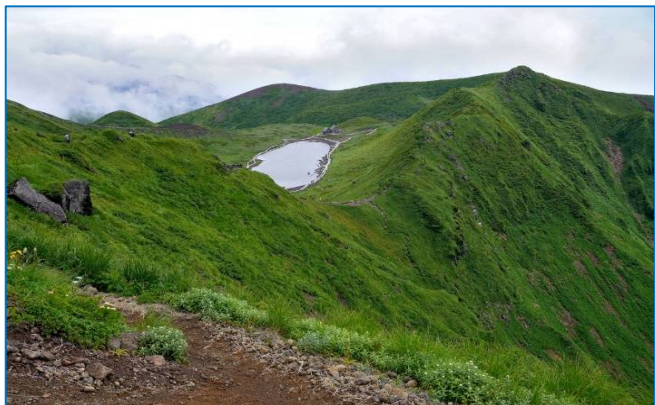
同左付近から北斜面 阿弥陀池小屋に向かう登山者たち



山頂付近から女岳、小岳を望む



男岳山頂と雲間に田沢湖を望む



男岳山頂付近から男岳分岐と阿弥陀池方面眺望



大焼砂分岐付近のイワテトウキ



金十郎長根（金十郎長根下部から望む、左は男岳、右は女岳）
(2020/08/24広野孝男氏撮影)



金十郎長根上部から女岳溶岩流と男岳
(2020/08/24広野孝男氏撮影)